

稲沢市・祖父江町・平和町合併協定調印式

日 時 平成16年6月1日(火)午前9時30分開会

場 所 稲沢市勤労福祉会館 多目的ホール

次 第

1 開 式

- ・開式のことば
- ・経過報告

2 合併協定調印

3 立会人署名

4 主催者挨拶

5 来賓祝辞

6 閉 式

- ・閉式のことば

司会 江崎あずみ

皆様、本日は、稲沢市・祖父江町・平和町合併協定調印式にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます江崎あずみと申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、祖父江町助役 伊藤澄也より、開式のことばを申し上げます。

祖父江町助役 伊藤澄也

本日は、ご来賓の方を始め、多くの皆様方にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただ今より、稲沢市、祖父江町、平和町の合併協定調印式を開会いたします。

司会 江崎あずみ

続きまして、稲沢市、祖父江町、平和町の合併に関する協議経過を稲沢市助役 吉川 昭より、ご報告申し上げます。

稲沢市助役 吉川 昭

ご紹介をいただきました稲沢市助役の吉川 昭でございます。

本日は、多くのご来賓のご臨席を賜り、稲沢市、祖父江町、平和町の合併協定調印式を挙行するにあたり、これまで合併協議等の経過につきまして、ご報告申し上げます。

本日、お手元に配布させていただいております式次第に、当地域における合併への取組みの経過を簡単にまとめておりますので、ご覧いただきたいと存じます。

当地域での合併への取組みは、平成14年12月に稲沢市、祖父江町、平和町の首長が1市2町で合併への準備を進めていくことで合意いたしまして、それぞれの議会でご理解をいただきながら、具体的な検討に着手したものであります。

平成15年4月9日には、任意の合併協議会である稲沢市・祖父江町・平和町合併検討協議会を設置し、4月30日には愛知県から合併重点支援地域の指定を受け、多岐にわたるご支援をいただきながら、法定協議会設置に向けて検討を進めてまいりました。

6月には、それぞれの議会で法定協議会の設置議案の可決をいただきまして、7月1日に稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会を設置いたしました。

合併協議会は、1市2町の議会議員の代表、有識者、首長等による総数22名で構成し、7月8日に第1回の会議を開催してから平成16年5月15日の会議まで11回にわたり、合併協定項目、新市建設計画などについて協議を重ねてまいりました。

住民の皆様方には、「合併協議会だより」をお配りして、協議会の協議内容を逐次お知らせし、平成15年10月には、それぞれの市町で市町村合併住民懇談会を、また、講師をお招きして「1市2町 夢のあるまちづくり」をテーマといたしました合併シンポジウムを開催するなど、合併に向けた機運の醸成と議論の喚起に取り組んでまいりました。

また、平成16年4月に祖父江町で住民投票を、稲沢市と平和町で住民意識調査を実施いたしましたところ、当地域の合併に多くの賛同をいただきまして、本日の合併協定調印式を迎えさせていただくことが出来ました。

以上、合併に関する協議の経過の説明とさせていただきます。

ありがとうございました。

司会 江崎あずみ

続きまして、合併協定の署名、調印に入らせていただきます。

最初に、稲沢市長、祖父江町長、平和町長が署名、調印を行います。

その後、立会人であります合併協議会委員の皆様にご署名をお願いしたいと存じます。

なお、合併協定書につきましては、受付でお渡しいたしました資料の中にその写しを入れておりますので、ご覧くださいませ。

それでは、服部市長、友松町長、伊藤町長、お願いいたします。

(服部市長、友松町長、伊藤町長が署名、調印)

司会 江崎あずみ

ありがとうございました。

調印の記念といたしまして、服部市長、友松町長、伊藤町長、3人の固い握手によって、

その証を確実なものとしていただきたいと思います。

それでは、固い握手をお願いいたします。

皆様、盛大な拍手をお願いいたします。

(服部市長、友松町長、伊藤町長が握手)

司会 江崎あずみ

ありがとうございました。

服部市長、友松町長、伊藤町長、どうぞお席へお戻りくださいませ。

(服部市長、友松町長、伊藤町長が自席へ移動)

司会 江崎あずみ

続きまして、立会人として、合併協議会の委員の皆様方のご署名をいただきたいと思います。存じます。

(協議会委員が署名)

司会 江崎あずみ

委員の皆様、ありがとうございました。

本日、ここに稲沢市、祖父江町、平和町の合併協定の調印が、合併協議会委員の皆様による立会いのもと、正式にとり行われました。

皆様、今一度、盛大な拍手をお願いいたします。

それでは、ここで主催者より、ごあいさつを申し上げます。

初めに、稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会会長であります稲沢市長 服部幸道より、ごあいさつを申し上げます。

稲沢市長 服部幸道

合併協定調印式にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

ご来賓の皆様、愛知県副知事さんをはじめ、国会の先生方、県会の先生方、各界各層の委員の皆様方、また、合併協議会の委員の皆様方、公私ともお忙しい中を早朝よりご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

まずもって、お礼申し上げます。ありがとうございました。

ただいま合併協議会委員の皆様方のお立会いのもとに稲沢市、祖父江町、平和町の合併協定に調印することができました。

振り返りますと、昨年4月に任意の合併検討協議会を立ち上げまして、その後、7月に法

定協議会を設置して以来、今日まで11回の協議会を開催していただきました。

その間、それぞれの議会のご支援、県当局のご指導はもとより、多くの住民の皆様方のご理解とご協力の下で、協議会委員の皆様方には、毎日にわたって慎重かつ熱心な議論を重ねていただきました。

本日、調印が成りました合併協定は、いうまでもなくこのような取組みの集大成というべきものでございます。

ご臨席の皆様方始め、住民の皆様、ご関係者の皆様のご理解とお力添えに対しまして、心から厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

また、副会長としてそれぞれの地域の議論をリードしてこられた両町長さんのご尽力に対しまして、深く感謝を申し上げる次第であります。ありがとうございました。

本日の調印をもって、いよいよ議会に議決をお願いし、来年4月の新しい稲沢市の船出を目指して、スタートを切ることとなりました。

稲沢市、祖父江町、平和町の住民の皆様のご誰もが、合併してよかった、住んでいてよかったと感じていただけるまちづくりを目指しまして、皆様方と心を一つにして、力をあわせ、一つ一つ誠心誠意取り組んでまいります。

ご列席の皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げまして、私のごあいさつとさせていただきます。

平成16年6月1日 稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会会長 稲沢市長 服部幸道。

本日は、本当に皆様方のご協力に対しまして、感謝申し上げます。

今後とも引き続き、よろしくお願い申し上げます。

司会 江崎あずみ

ありがとうございました。

続きまして、稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会副会長であります祖父江町長 友松隆利より、ごあいさつを申し上げます。

祖父江町長 友松隆利

祖父江町長の友松隆利でございます。

稲沢市・祖父江町・平和町合併調印式にあたり、主催者のひとりといたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

この稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会が昨年7月に発足し、約1年間の時間をかけて本日、調印式を迎えられることにつきましては、本日ご臨席を頂いておりますご来賓の方々をはじめ、多くの関係各位の時間を惜しまない協議と努力の成果であり、心からお礼を申し上げます。

ご承知のように、我が町、祖父江町は明治29年の町制施行後、108年の歴史をもつ町であります。

地域風土を生かし、すべての町民が住み慣れた環境の中で、互いに支えあいながら共に生きる福祉社会の構築を目指し、地域福祉の推進を図ってまいりました。

私は、昨年7月に町長に就任させていただいて以来、山積する問題の中で、この市町村合併を最大の課題としてとらえ、取り組んでまいりました。

市町村合併の問題は、現在から将来にわたり、町民の生活に大きく影響を及ぼすこととなるため、私は『行政の主人公は住民である』との信念のもとで、愛知県の町村では初めての住民投票を実施いたしました。

住民投票を実施するにあたりましては、合併論議の機運の醸成が必要であり、行政が昨年7月から法定協議会において協議を進めてまいりました内容を広く町民の方々に情報として提供させていただくため、「市町村合併とは？」といった基本的な内容から、「祖父江町地域の将来像として、新市はもとより愛知県の西の玄関口として更なる発展を目指す必要がある」ことなどにつきまして、できる限りの機会をとらえ、説明会を開催するなど情報提供に最大限の努力をいたしてまいりました。

その結果、十分な機運の醸成が図られ、ご承知のとおり、住民投票では合併に賛成される町民が、多数ということであったと認識しております。

私は、この住民投票の結果を町民の総意として受け止めますとともに、町民が望むこの地域の将来像を見据え、新市建設計画に位置付けられました「自然の恵みと心の豊かさ 人が輝く 文化創造都市」これを目指して、祖父江町といたしまして、努力をいたしてまいりたいと考えておりますが、合併に賛成されなかった町民の方々に対しましても、この地域の将来像についてさらにご意見をいただくなどいたしまして、新市の均衡ある発展を希望するものでございます。

最後に、ここにご臨席をいただいておりますご来賓の方々を始め、関係市町の議会の更なるご支援、ご協力をお願いするとともに、職員の一層の努力を期待いたしまして、簡単ではございますが、私のごあいさつとさせていただきます。

平成16年6月1日 稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会副会長 祖父江町長 友松隆利。

司会 江崎あずみ

ありがとうございました。

続きまして、稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会副会長であります平和町長 伊藤勇夫より、ごあいさつを申し上げます。

平和町長 伊藤勇夫

稲沢市・祖父江町・平和町合併協定の調印にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

ただいま、合併協定の調印が無事終了いたしましたことは、本日ここにご列席の皆さまを始めとして、稲沢市、祖父江町、平和町の住民の皆さまの多大なるご理解とご協力の賜物と、

深く感謝を申し上げる次第でございます。

昨年4月の県の合併重点支援地域の指定から1年余り、合併協議会設立より11ヶ月でこの日を迎えることができたことは、誠に感慨深いものがございます。

改めて申し上げるまでもなく、この1市2町の合併は、今日の社会情勢の変化に対応し、今後の自治体に期待される様々な役割を果たすための取組みであります。

協議会の場や、地元説明会、懇談会において、住民の皆様にご直接その必要性を申し上げ、また、ご意見をいただきながら、進めてまいりました。

特に、今年の3月17日から28日の間に実施した地元説明会では、町内26区の全行政区に足を運び、皆様と膝を突き合わせ、10年、20年先の未来のため、合併の必要性を訴えてまいりました。

明治39年に三つの村が合併し、現在の平和町の前身である平和村が誕生しました。

以来、その歴史を築いてきたわけではありますが、いつの時代でも歴史を大きく転換しなくてはならないときがあるものでございます。

そして、今がまさにその時であると確信しております。

合併後は、調印いたしました協定書に基づく施策の展開により、希望と誇りが持てる新しいまちづくりが実現され、新しい稲沢市として、素晴らしいまちが誕生することを願い、簡単ではございますが、私のあいさつとさせていただきます。

平成16年6月1日 稲沢市・祖父江町・平和町合併協議会 副会長 平和町長 伊藤勇夫。

ありがとうございました。

司会 江崎あずみ

ありがとうございました。

ここで、本日、ご多忙のところ、ご臨席いただいておりますご来賓の皆様方をご紹介させていただきます。

愛知県知事 神田真秋 様。

本日は公務のため、代理として、愛知県副知事 森 徳夫 様にご出席をいただいております。

衆議院議員 海部俊樹 様。

本日は代理として、秘書の澤田 崇 様にご出席をいただいております。

衆議院議員 岡本充功 様。

愛知県議会議員 吉川伸二 様。

愛知県議会議員 久保田浩文 様。

愛知県議会議員 田島 昊 様でございます。

ご臨席いただいておりますご来賓の皆様、全員をご紹介させていただくのが本意ではございますが、お時間の関係上、誠に恐縮ではございますが、お手元の来賓名簿をもちまして、

ご紹介に替えさせていただきます。

それでは、本日、ご臨席いただいておりますご来賓の皆様より、ご祝辞を賜ります。

初めに、愛知県知事 神田真秋 様、ご祝辞を森副知事より頂戴いたします。

森 様よろしくお願いたします。

愛知県副知事 森 徳夫 様

ご紹介をいただきました愛知県副知事の森でございます。

愛知県の神田知事、本日、海外渡航中でございますして、出席をさせていただくことが出来ません。

知事の祝辞を預かってまいりましたので、代読をさせていただきます。

本日、ここに、稲沢市、祖父江町及び平和町の合併に関するすべての協議が整い、合併協定書の調印が行われましたことを、心からお祝いを申し上げます。

この地域の皆様が、これまでに様々な課題を克服され、本日の調印式を迎えられたわけでございますして、関係者の感慨はひとしおであろうかと推察を申し上げる次第であります。

稲沢市長さん、祖父江町長さん、平和町長さん、関係議会議員の皆様を始め、関係者の方々の、地域の将来を見据えたご努力に、深く敬意を表するものであります。

ご承知のとおり、本県では田原市が昨年8月に誕生しておりますが、大詰の合併協議が数多く進む中であっては、当地域の合併協定調印が最も早く、他の地域にとりましても、この調印は、大きな刺激になるものとする次第であります。

さて、21世紀を迎え、少子高齢化の進展、環境問題等の新たな行政課題の顕在化、国、地方を通じた厳しい財政状況など、市町村を取り巻く環境は大きく変化をしております。

そうした状況下におきまして、市町村合併は、行財政基盤を強化し、新たな行政ニーズに対応するための有力な手段として、全国で、急速に進展しております。

こうした中、歴史的、文化的にも深い繋がりを持ちますこの地域では、様々な分野における活動が、市町の境界を越えて、1市2町を単位として展開されてまいりました。

また、ご当地は、肥沃な土壌の恩恵を受け、尾張地域では第1位の農業生産額を誇り、工業集積も厚いことから、これからの産業の中核地域として、周辺の広域的な幹線道路網の整備と相俟って、今後、益々の発展が期待をされております。

また、木曾川を軸とする広域的なレクリエーション空間として、大きな期待が寄せられる地域でもあります。

こうした地域特性を踏まえ、新しい市の将来像として掲げられました「自然の恵みと心の豊かさ 人が輝く 文化創造都市」を目指して、1市2町がこれまで培われてこられた市町の個性を引き継ぎながら、新市としてさらなる発展を遂げ、尾張西部全域の発展へと繋がってゆくことを願っております。

本県といたしましても、今後の、新市の建設に、積極的な支援を行ってまいりたいと考えております。

最後となりましたが、来年4月、めでたく新「稲沢市」が誕生いたしますことと、本日、ご参会の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げまして、わたくしからの、お祝いの言葉といたします。

平成16年6月1日 愛知県知事 神田真秋

本日は、合併協定の調印、誠におめでとうございます。

司会 江崎あずみ

ありがとうございました。

続きまして、国会議員を代表いたしまして、衆議院議員 岡本充功 様にお願い申し上げます。

衆議院議員 岡本充功 様

本日は、合併調印、まずはおめでとうございます。

ただいまご紹介にあずかりました衆議院議員の岡本充功でございます。

本日は、国会におきましては、北朝鮮の船舶入港禁止の法案、私、国土交通委員でありまして、審議をされているところではありますが、この調印式に勝る公務はないと考えまして、私、参加をさせていただきました。

この1市2町の合併調印式、私、この愛知県の中でも、今、神田知事の祝辞の中にもありましたけれども、2番目に行われる。

国の施策の中でも進められてきた市町村合併に向けての大きな流れの中で、ここにご参集いただきました各界を代表される皆様のお力で、これだけ順調に、そしてまた、大変苦しい部分もあったところを、それぞれの首長さんのご努力、各地域を代表される議員の皆様方のご努力下、この調印に漕ぎ着けたんだという気持ちを、私も強く持っております。

今の日本の現状の中で、市町村合併の波が来ている。

そういった中で、新しい日本を、そして新しい地域を作っていくという、これからの役割を私も肝に銘じた今日でございます。

今、いろいろな課題がある中で、私、この地域の農業を是非とも強いものにしたいと思い、この東海地域では唯一、農林水産委員も拝命させていただいておりますが、この農林水産業、特にこの地域の農業を強くしていく、そしてまた、私、医療分野から出ておりますから、医療の分野においても、この地域が先進地域となるように、私は自分で努力をしていきたいと思っております。

しかし、それぞれのその他の分野においては、また皆様方のお力をお借りして、そして地域が発展し、合併してよかった、そして住んでみえる皆様方が、10年先、20年先に住環境が良くなり、更なる文化的な醸成を育む地域になったと感じていただけるような新市を目指し、私も努力をまいります。

どうぞ、今後とも皆様方のお力をお借りする中で、この合併、しっかりとしたものにして

いきたいと思っております。

本日は、お集まりいただきました皆様方、大変お忙しい中ではございますけれども、どうぞ今後とも、ご尽力のほどよろしくお願い申し上げます。

本日は、誠におめでとうございました。

司会 江崎あずみ

ありがとうございました。

続きまして、愛知県議会議員を代表していただきまして、吉川伸二 様をお願い申し上げます。

愛知県議会議員 吉川伸二 様

皆様、おはようございます。

紹介をいただきました県会議員の吉川でございます。

今日は、久保田議員、田島議員、揃っておみえでありますけれども、私から一言ごあいさつをさせていただきます。

ただいまは、合併調印式が関係者の皆様方が見守る中、無事、終了いたしましたことを心からお祝い申し上げる次第であります。

合併問題というのは、今、日本の中でずいぶん進んでいるところ、進んでいないところがあるわけでありましてけれども、考えてみますと、今日も議員の方々がたくさんおみえになっておられるわけでありましてけれども、確か昭和39年に、環境、いわゆるゴミと屎尿の一部事務組合が設立されて、それ以来、水道や消防、広域行政の中で、私は、市民、町民の皆さん方のニーズに応えてまいられたと思います。

そういう中で、時代の変化により、この地域も最初は、生活圏がどんどん今、東のほうへ移ってきておるわけですが、祖父江町、平和町というのは、当初、一宮警察署官内で、行政も殆どが一宮市にありました。

私、自分のことを言っておし訳ないのですけれども、県会議員に出させていただいたときが、平成5年でありました。

それ以後、平和の町長さん、そしてまた、祖父江の町長さんとも相談をさせていただきまして、少なくともやはり、平和から稲沢を通過して一宮へ行くのはおかしいのではないかと。

そういう中で、平和町、祖父江町、平成6年以降、稲沢署管内にさせていただきました。

生活の変化というのは、時代の流れによって、ずいぶん違って来るわけでありまして。

先ほど話が出ておりましたように、これから地方分権社会といわれております。

まさにそれにふさわしい、私は、自治体、新稲沢市が誕生したのではないかと、私は思っております。

歴史のあるまちが合併するためには、いろいろと問題点を含んでおるわけでありましてけれども、今日までのこの調印式に向けられまして、関係各位の皆様方に本当に真摯に努力をし

ていただいたことに、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

愛知県というのは、ご案内のとおり県民の皆様にご理解とご協力をいただきながら、中部国際空港と万博を今やっています。

来年の2月には中部国際空港の開港、万博は3月25日には開幕をするわけであります。

この2大事業というのは、非常に愛知県にとっては大事なものであります。

愛知県というのは、日本の中心地域であります。

ものづくりの愛知、これからは更に、人やものや情報、そしてまた技術が、高まる時代が来るわけであります。

まさに21世紀は、愛知の時代といわれているわけでありますので、この愛知の中心地は名古屋であります。

名古屋から僅か10分前後で稲沢市へ来れるわけであります。

私も視察で関東や関西へお邪魔するわけでありますけれども、こんな地域は、関東や関西にないわけであります。

特に今回は、平和町も祖父江町も合併するわけでありますので、そうしますと、稲沢は都市部もあり、農村部もあり、そして木曽川の自然環境もある。

こんな素晴らしい、私は、まちづくりができる新市はないと思っておりますので、ただこれからは、バランスの取れたまちづくりをしていただきたい。

特にテーマにありましたように「夢のあるまちづくり」、大変いいテーマだと思います。

是非ひとつこれを目指して、今日ご参加の皆様方には、更にご尽力をいただきたいと思っております。

われわれ県会議員3人、心をひとつにして、これからはしっかりと形で支援してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

最後に、皆様方のご健康とご多幸と新しい市のご誕生いたしましたことをご祈念いたしまして、簡単ではありますが、お祝いのあいさつとさせていただきます。

おめでとうございます。

司会 江崎あずみ

ありがとうございました。

本日、ご多忙のところ、多くのご来賓の皆様にご臨席をいただいております。

会場にお越しのご来賓の皆様、本日は誠にありがとうございます。

祝電が届いておりますので、ご披露申し上げます。

調印式のご盛会をお祝い申し上げますとともに、稲沢市・祖父江町・平和町合併協議のご成功をお祈り申し上げます。

衆議院議員 海部俊樹 様。

1市2町合併調印式が行われますことを心よりお喜び申し上げます。
未来のまちづくりに向け、また地域住民の幸せのためにご尽力くださいますよう祈念申し上げます。

参議院議院運営委員長 参議院議員 宮崎秀樹 様。

以上、祝電をご披露させていただきました。

それでは、閉式のことばを平和町助役 織田克己より申し上げます。

平和町助役 織田克己

本日は、ご多忙中、皆様にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、稲沢市・祖父江町・平和町の合併協定調印式を終了いたします。

どうもありがとうございました。

司会 江崎あずみ

ご臨席をいただきました皆様、本日は誠にありがとうございました。

午前10時27分 閉会